

「超上流工程における要求分析への科学的アプローチ」研究会

2016 年度第 2 回勉強会のご案内

2016 年 8 月 4 日

情報システム学会同上研究会発

1. 日 時：2016 年 9 月 10 日（土）午後 1 時～午後 5 時
2. 場 所：名古屋経済大学 名駅サテライトキャンパス 6 階 63 教室

■場所

名古屋経済大学 名駅サテライトキャンパス

名古屋市中村区名駅 4-25-13

TEL：052-569-2883

■アクセス

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/access/map/meieki.php>

名古屋駅南のナナちゃん人形を背に錦通を 200 メートル進んだ名古屋高速入口そばの南側です。地下街ご利用の場合は、ミヤコ地下街 4 番出口を上がって目の前のビルです。

3. 発表

2016 年度第 2 回は、IT 勉強宴会様との共同開催で、3 名の発表となります。これらの内容がいかに密接に絡み合うかは、参加しての議論をお楽しみ下さい。

(1) 講師：名古屋経済大学 経営学部 教授 中西昌武

題目「方法論の成り立ちから要求分析を考えてみる。」

この業界には、ウォーターフォール型アプローチ (WF) のほか、WF に批判的な立場から提案された数々のアプローチ群がある。これらのアプローチの別称として「方法論」という言葉を使う人がいるかもしれない。だが方法論とアプローチは同一視できるだろうか？ここでは方法論 (メソドロジー) を「アプローチ (メソッド) の構成と適用を教導する思想原理 (ロゴス)」と試行的に捉えてみよう。では、方法論がそのような思想原理であるための成立要件は何か？それが分かれば、派を競うアプローチ群や支援ツール群を客観的に捉える位置に立てるのではないか。さらには、その延長上に要求分析のあり方も見えてくるのではないか。ここでは、そのような思考遊戯を楽しむ時間を提供する予定です。

(2) 講師：日本オフィスクリエーション株式会社 技術顧問 下地忠史様

題目「データ・ライフサイクル管理思想のウェブアプリ生成ツール Rmenu で要求分析用の紙芝居を作ってみよう！」

Rmenu は、データ・ライフサイクル管理思想を核として美しく精緻な Model-View-Control アーキテクチャを備えたオープンソースのウェブアプリ生成ツールである。このツールは、ユーザが要求する業務画面帳票のその時々仕様に対し迅速な実装生成を行うが、ここでは逆の見方をしてみたい。このツールを使えば「もう実装のことで悩む必要はないから、要求分析にしっかりと力を注ごう！」という考えに立てるのではないか？

そこで今回は、少し遊び心をいれて、ツール開発者である下地忠史様に、Rmenu を使うと要求分析用の紙芝居がいとも簡単に作れるという例をご紹介いただき、要求分析と開発ツールの関係について議論します。

(3) 講師：株式会社テラスカイ 西日本ソリューション部  
シニアスペシャリスト 佐野初夫様 (IT 勉強宴会 幹事)

題目「業務システムの見積もり手法と正確な見積りを出すノウハウ」

ソフトウェア開発に入る前に見積もりをすることは重要である。昔はプログラム行数 (LOC) と全体工数に相関関係にあることを利用して見積る方法が主流だったが、今その方法を取ると「リファクタリングしない方が高くなり開発業者が得をする」というおかしな結果を導く。現場でも見積手法について混乱しているように思える。ここでは業務システム開発の標準的な見積もり手法を網羅した上で、正確な見積もりを出すためのご自身の適用方法をご説明頂きます。時間に余裕がある場合はソフトウェア会社の人月単価の考え方についてもお話し頂けるでしょう。

参加費：無料

★研究会の後、有志により懇親会を催します (費用は実費)。

研究会の参加希望の方は以下のメールアドレスにメールをください。  
nakanishi-m@nagoya-ku.ac.jp 中西昌武 (名古屋経済大学) 宛て

以上